

ウェルカムパーティー



ようこそ
弥富市へ!

7.10▶▶7.17



国際交流 in YATOMI

愛知黎明高校の友好校である、アメリカのマリーナ高校(ハンティントンビーチ市)・エスペランザ高校(アナハイム)の生徒9人と先生1人が国際交流として、弥富市に滞在しました。

10日には、留学生を迎え入れるウェルカムパーティーが行われ、ホームステイ先の家族と談笑したり、なぎなたや群舞の披露を見たりしていました。



また、11日に弥生保育所、12日には白鳥小学校を訪問しました。お手玉やけん玉などの遊びを楽しみ、さらには、毛筆体験でうちに自分の名前や、好きな言葉を書くといった日本文化を体験して子どもたちと楽しみました。

留学生たちは、「弥富市はすごく景色がきれい」「みんな優しくてすごく楽しい!また来たい」などと感想を教えてくださいました。



微生物の名前を当てるクイズをしている様子

下水道講座

7月4日、白鳥小学校で4年生を対象に下水道講座が行われました。

講座では、自分たちが出した汚れた水が、微生物の働きによってきれいになる仕組みを学びました。

実際に微生物を顕微鏡で観察して、種類や名前、特徴などを教わりました。その他に、飲み物や食べ物を川や海に流してしまうと、どれだけ水を汚してしまうのかを、牛乳とジュースを使って水質実験(パッチテスト)をしました。

子どもたちは体験授業を通じて、下水道と下水処理場の仕組みや役割について理解を深めることができました。



市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!



夏野菜の収穫
(ひので保育所)

やとみ 歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。



明治の東海道(その3)

広報やとみ7月号でご紹介した、前ヶ須の蓮如堂から県道を東へ進みます。日の出小学校で道路が左にカーブしますが、東海道は小学校敷地内を通り、旧弥富中学校東門に向かって続いていました。そこには「おみよし松」というクロマツの古木がそびえています。この松は、正保3年(1646年)の平島新田開拓の頃に植えられたと伝えられています。名前の由来は、この川岸に尾張津島天王祭の神輿(みよし)が流れ着いたことによります。

昭和33年(1958年)の弥富中学校開校にともない校庭内に取り込まれる形となったことから、中学校の校歌にも歌われ、今なお多くの市民に親しまれています。かつては東海道を行き来する人々を、そして今は日の出小学校の子どもたちを静かに見守っています。

東海道はこの先、しばらくは筏川の左岸堤を下ります。昔は周辺に何本も古松があったそうですが、今はおみよし松の1本だけとなりました。



▲おみよし松

広報やとみでは市民の皆さんが撮影したお写真を募集しています!詳しくは、市ホームページ『投稿こんな〇〇あったがね〜』をご覧ください。



選手宣誓の様子

ドッジボール大会

6月30日、十四山スポーツセンターで市子ども会連絡協議会主催の夏季スポーツ大会「ドッジボール大会」が開催されました。

各小学校区を代表して、男女9チームが参加し、日ごろの練習の成果を競いました。

結果は、男子の部は「下之割子ども会」、女子の部は「十四山西部子ども会」が優勝しました。

金魚すくいに挑戦!

7月24日、26日、31日、市内保育所にて金魚すくいイベントが行われました。

これは、金魚組合の協力のもと「弥富金魚」に親しんでもらうためのイベントです。

子どもたちは、慣れないポイに悪戦苦闘しながら楽しそうに金魚すくいをしました。「たくさんすくえた!」「上手にできなかったけど凄く楽しかった」など、とても嬉しそうでした。



金魚すくいに挑戦する子どもたち(十四山保育所)